

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 6 月 16 日 (2016.6.16)

【公表番号】特表 2013-546227 (P2013-546227A)

【公表日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報 2013-069

【出願番号】特願 2013-532877 (P2013-532877)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/258 (2011.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 Q 30/06 (2012.01)

H 0 4 N 17/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 21/258

G 0 6 F 13/00 5 4 0 R

G 0 6 Q 30/06 1 1 0 E

H 0 4 N 17/00 M

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 22 日 (2016.4.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つまたは複数のプロセッサおよびメモリを有するサーバにおいて実行される、TV 番組に関するリアルタイムの人気情報を提供する方法であって、

前記サーバが、複数の別個の家庭から第 1 の期間の間における現在の TV 視聴情報を受け取るステップであって、前記家庭の現在の TV 視聴情報は、前記家庭で現在表示されている 1 つまたは複数の TV 番組を識別する、ステップと、

前記サーバが、前記複数の別個の家庭から前記第 1 の期間より長くかつ前記第 1 の期間を含む第 2 の最近の期間の間における最近の TV 視聴情報を受け取るステップであって、前記家庭の最近の TV 視聴情報は、前記家庭で前記第 2 の最近の期間の間において表示されていた 1 つまたは複数の TV 番組を識別する、ステップと、

前記サーバが、それぞれの家庭の前記現在の TV 視聴情報と前記最近の TV 視聴情報とを、1 つまたは複数のデモグラフィックス基準のそれぞれの組に関連させるステップと、

前記サーバが、デモグラフィックス基準のそれぞれの固有の組ごとに、前記デモグラフィックス基準のそれぞれの固有の組に関連する、前記第 1 の期間の間を受け取られた前記現在の TV 視聴情報と前記第 2 の最近の期間の間を受け取られた前記最近の TV 視聴情報とをそれぞれ集約し、前記デモグラフィックス基準のそれぞれの固有の組に関する現在人気があり、かつ、前記第 2 の最近の期間にわたり人気があり続ける 1 つまたは複数の推薦される TV 番組を識別して選択するステップと、

前記サーバが、現在人気がある TV 番組の識別を求める要求を家庭から受け取るステップであって、前記家庭は第 1 の組のデモグラフィックス基準に関連する、ステップと、

前記サーバが、前記家庭に情報を送るステップであって、前記情報は前記第 1 の組のデモグラフィックス基準に関連する、前記選択された 1 つまたは複数の推薦される TV 番組を識別する、ステップと

を含む方法。

【請求項 2】

前記 1 つまたは複数の推薦される TV 番組を選択するステップが、前記家庭に関連する好みに基づいて、前記識別された 1 つまたは複数の現在人気がある TV 番組をフィルタリングすることを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 1 つまたは複数の推薦される TV 番組を選択するステップが、前記家庭の位置に関連する地域的な好みに基づいて、前記識別された 1 つまたは複数の現在人気がある TV 番組をフィルタリングすることを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

TV 番組に関するリアルタイムの人気情報を提供するためのコンピュータシステムであって、

メモリと、

1 つまたは複数のプロセッサと、

前記メモリ内に記憶され、前記 1 つまたは複数のプロセッサによって実行されるように構成される 1 つまたは複数のプログラムと

を含み、前記 1 つまたは複数のプログラムが、

複数の別個の家庭から第 1 の期間の間における現在の TV 視聴情報を受け取るための命令であって、前記家庭の現在の TV 視聴情報は、前記家庭で現在表示されている 1 つまたは複数の TV 番組を識別する、命令と、

前記複数の別個の家庭から前記第 1 の期間より長くかつ前記第 1 の期間を含む第 2 の最近の期間の間における最近の TV 視聴情報を受け取る命令であって、前記家庭の最近の TV 視聴情報は、前記家庭で前記第 2 の最近の期間の間において表示されていた 1 つまたは複数の TV 番組を識別する、命令と、

それぞれの家庭の前記現在の TV 視聴情報と前記最近の TV 視聴情報とを、1 つまたは複数のデモグラフィックス基準のそれぞれの組に関連させるための命令と、

デモグラフィックス基準のそれぞれの固有の組ごとに実行される、前記第 1 の期間の間に受け取られた前記現在の TV 視聴情報と前記第 2 の最近の期間の間に受け取られた前記最近の TV 視聴情報とをそれぞれ集約し、前記デモグラフィックス基準のそれぞれの固有の組に関する現在人気があり、かつ、前記第 2 の最近の期間にわたり人気があり続ける 1 つまたは複数の推薦される TV 番組を識別して選択するための命令と、

現在人気がある TV 番組の識別を求める要求を家庭から受け取るための命令であって、前記家庭は第 1 の組のデモグラフィックス基準に関連する、命令と、

前記家庭に情報を送るための命令であって、前記情報は前記第 1 の組のデモグラフィックス基準に関連する、前記選択された 1 つまたは複数の推薦される TV 番組を識別する、命令と

を含む命令と、

を含む、コンピュータシステム。

【請求項 5】

1 つまたは複数の推薦された番組を選択するための前記命令が、前記家庭に関連する好みに基づいて、前記識別された 1 つまたは複数の現在人気がある TV 番組をフィルタリングするための命令を含む、請求項 4 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 6】

1 つまたは複数の推薦された番組を選択するための前記命令が、前記家庭の位置に関連する地域的な好みに基づいて、前記識別された 1 つまたは複数の現在人気がある TV 番組をフィルタリングするための命令を含む、請求項 4 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 7】

コンピュータシステムによって実行される 1 つまたは複数のプログラムを記憶するコンピュータ可読記憶媒体であって、前記 1 つまたは複数のプログラムが、

複数の別個の家庭から第 1 の期間の間における現在の TV 視聴情報を受け取るための命

令であって、前記家庭の現在のＴＶ視聴情報は、前記家庭で現在表示されている１つまたは複数のＴＶ番組を識別する、命令と、

前記複数の別個の家庭から前記第１の期間より長くかつ前記第１の期間を含む第２の最近の期間の間における最近のＴＶ視聴情報を受け取る命令であって、前記家庭の最近のＴＶ視聴情報は、前記家庭で前記第２の最近の期間の間において表示されていた１つまたは複数のＴＶ番組を識別する、命令と、

それぞれの家庭の前記現在のＴＶ視聴情報と前記最近のＴＶ視聴情報とを、１つまたは複数のデモグラフィックス基準のそれぞれの組に関連させるための命令と、

デモグラフィックス基準のそれぞれの固有の組ごとに実行される、前記第１の期間の間に受け取られた前記現在のＴＶ視聴情報と前記第２の最近の期間の間に受け取られた前記最近のＴＶ視聴情報とをそれぞれ集約し、前記デモグラフィックス基準のそれぞれの固有の組に関する現在人気があり、かつ、前記第２の最近の期間にわたり人気があり続ける１つまたは複数の推薦されるＴＶ番組を識別して選択するための命令と、

現在人気があるＴＶ番組の識別を求める要求を家庭から受け取るための命令であって、前記家庭は第１の組のデモグラフィックス基準に関連する、命令と、

前記家庭に情報を送るための命令であって、前記情報は前記第１の組のデモグラフィックス基準に関連する、前記選択された１つまたは複数の推薦されるＴＶ番組を識別する、命令と

を含む命令と、

を含む、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項８】

１つまたは複数の推薦された番組を選択するための前記命令が、前記家庭に関連する好みに基づいて、前記識別された１つまたは複数の現在人気があるＴＶ番組をフィルタリングするための命令を含む、請求項７に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項９】

１つまたは複数の推薦された番組を選択するための前記命令が、前記家庭の位置に関連する地域的な好みに基づいて、前記識別された１つまたは複数の現在人気があるＴＶ番組をフィルタリングするための命令を含む、請求項７に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００５６

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５６】

好ましい実施形態では、伝送が生じるたびに伝送されていない全ての視聴履歴データを伝送する。具体的には、伝送が生じるときに利用者がテレビ番組を現在見ている場合、そのテレビ番組を伝送情報内に含める。図９に示すように、現在視聴されている番組は、「現在」９１０－１から９１０－ｎである。一部の実施形態では、僅かに長い時間を「最近」９０８－１から９０８－ｎとして識別する。図９に示すように、「現在」は「最近」に含まれている。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００５７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５７】

履歴データ９１２（個々の視聴履歴９０６－１から９０６－ｎを含む）を集約して集約済み履歴９１４を形成する。「最近」の視聴データを集約すると最近の集約済み履歴９１６が形成され、「現在」の履歴を集約すると現在の人気リスト９１８が形成される。一部の実施形態では、履歴データを頻繁に集約する。例えば５分おき、１分おき、あるいは５

秒おきにである。集約は、少なくとも2つの異なる次元内で行うことができる。時間の次元では、視聴履歴データを様々な期間にわたって集約することができる。図9には、「現在」の期間ならびに「最近」の期間を示す。この図面には「最近」の期間を1つしか示していないが、集約目的で多くの異なる期間（例えば直近の1分、直近の5分、直近の30分、直近の1時間、直近の24時間、前の週等）を使用することができる。一部の実施形態では、推薦を形成する際に「現在」の期間しか使用しないが、代替的实施形態では、「現在」の期間の代わりにまたはそれに加えて他の期間を使用する。例えば一部の実施形態は、利用者がどの番組を少なくとも数分間見続けるのかを突き止める。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 9】

